

第8回海陽町学校のあり方検討委員会

議事録

日 時：令和5年3月28日（火） 10:00～

場 所：海南文化館 大会議室

出席者：委員16名中12名出席

事務局：（担当課）海陽町教育委員会 三浦教育長、森崎教育次長、浦川主査
（受託者）リージョナルデザイン株式会社 安孫子

議事1 海陽町学校のあり方基本方針答申

委員長：議題1にうつります。答申案について事務局から説明をお願いします。

事務局：資料1をご覧ください。これまでの委員会での意見を踏まえてまとめています。
（前回からの変更点を説明。）

委員長：ありがとうございました。資料1の「海陽町学校のあり方基本方針」は答申案です。今までの意見を反映させたものとなります。ご確認頂き、承認されれば答申となります。委員の皆様から新たな意見がありましたら、事務局が答申書を整理し、後日、町長へ答申となります。前と違うなどの意見を言っていただき、まとめていきます。質問でも結構ですので、何かありますか。

福田：中学校についてですが、部活動の地域移行というようなことで、どんどん変化しつつあるが実情です。文化部は穴喰中学校にはあまりないのですが、バスが動いている関係で、穴喰中学校にある部活、それから海陽中学校にある部活をどちらでも選択できるというのが実状です。そのため、種類を同じようにしているという表現だったのですが、違う種類もあるので、その中学校の部活動の状況という文言の中に、海陽中学校と穴喰中学校の運動部活動を共通していくという文言に替えてはどうかと思います。その後ろに、連合チームを編成とありますが、一般的には合同チームとなるので、「合同」という言葉に替える方が望ましいと思います。

委員長：ありがとうございます。前回は「種類」というような部分が気になるというご意見が出されたと思うのですが、その部分も含めて、ただいま福田委員さんから意見が出ました、部活動のところについて、事務局はよろしいですか。

事務局：はい。

委員長：委員の皆さん、福田委員さんからそのような意見が出されたのですが、それでよろしいでしょうか？

（異議なしの声あり）

委員長：はい。ありがとうございます。他はございませんか。

井口委員：3ページの「安全安心な学校」の、「自然災害の脅威である津波に対して安全な場所とし、再編統合に合わせ、津波へ」というところで、6ページの最後の修正部分では津波等の自然災害となっているので、津波以外の災害を踏まえ、浸水などを踏まえれば、「自然災害の脅威である津波「等」に対して安全な場所として再編統合に合わせ、津波「等」へ」と、含みを持たせた表現のほうがいいと思います。

委員長：ありがとうございます。前回は津波だけではなくて、大雨とかも色々あるということで、ご意見を委員さんの方から出してくださいました。今、井口委員の意見で、「等」を入れておいた方がいいのではないかとということで、皆さんよろしいでしょうか。ありがとうございます。

委員長：何かございませんか。なかなか意見がでないようなので、私から意見を言ってもよろしいでしょうか。私はまず、再編の時期のところで、「令和9年度までに2校2校体制が望ましいと考えます」と書かれているのですが、前回の話し合いで、「まで」ではなく、「以降」にしないかという意見が出たと思うのですが、皆さん「以降」で納得してくださったように思うのですが、どうでしょうか。「令和9年度まで」では少し早すぎるのではないかと思います。事務局の方も、ちょっと急いで色々なことしなければならぬのではないかなということで、「令和9年度以降」というようにしたらどうだろうかという意見が委員さんからも出たと思うのですが、どうでしょうか。

（異議なしの声あり）

ありがとうございます。では、「令和9年度以降」でお願いします。

もう一つ構いませんか。「続いて1校1校へ移行する」のところで、「併せて、宍喰小学校と海南小学校を統合して、一つの学校にすることが適切であると考えます」となっているのですが、ここは海南小ではなく、海部小と海南小が統合され、新しい学校として、一つになるということですから、海南小ではないと思います。そこは、はっきりと文言を書いておかないと、海部小と海南小が統合したら海南小になるのか、ととらえられてしまうのではないかというのが、私の意見なのですが、委員の皆さんどうですか。新しい学校と宍喰小が一緒になって、一つの学校になって、1校1校が出てくるということで、これでよろしいですね。やはり対等の合併ということで、前も皆さんには共通理解をしていただいたと思うので、そこはしっかりとして書いておかないといけない部分だと思うのです。それで皆さん、賛同していただけますでしょうか。

（異議なしの声あり）

はい。ありがとうございます。それでは変更を事務局、お願いします。

皆津委員：住民は今後のことが気になっていると思うのですが、こういった情報をどんな形で発信するのですか。令和5年度は分かるのですが、その後のことはどうなっていますか。

事務局：前回に、令和5年度については、この答申を受けて、教育委員会の方で学校再編の基本計画を策定します。今のところ、短時間的なスケジュールは、来年度中に計画を作成し、その計画の作成の具合によって、地元の方に説明に行くということです。再編統合の図式したものがわかりやすいというのがあれば、そういうものも指し示しながら、説明するような形になると思います。

教育長：また、パブリックコメントを併せて、広く意見を頂く形です。もちろん、保護者の方、地域住民の方への説明も併せて行っていきたいと思っています。

皆津委員：住民の方への場を設定することが大切だと思いますので、よろしく願います。

委員長：今後の説明の仕方とか、どういう場でとか、そういったことを今、皆津委員さんの方からご質問を受けましたけれども、皆さんそれでよろしいでしょうか。基本計画を来年度作成して、住民の方に説明をする。パブリックコメントでも意見をいただくということを考えているということで、よろしいでしょうか。他にはどうですか。

井口委員：何かをしますという文言があるわけですが、例えばスクールバスを確保しますとか、地域連携の時点で進めていきますとか、充実させていきますとか、図りますとか、これは望ましいですということを述べていくという感じですか。今こういう感じですか、やっていますということを述べていくという感じですか。「方針」ということが、よくあんまり馴染まないのかわからないのですが。

委員長：確かに井口委員さんの言われるように、方針としてみていく場合に、自分も初めてなので、教えていただけるとありがたいです。

教育長：答申として、こういう事が望ましいと応援するものです。諮問の中で、教育的視点であったり、地域連携の視点、まちづくりの視点、学校施設の適正化の視点というのがあります。これから学校の適正規模、適正配置を考える上で、教育委員会の4つの視点が非常に大切だと思っています。そう思っているのも、そのあたりを含めて、協議してくださいという形で、こちらからお願いしています。こちらからこういうことを思っているのも、こういうことを共有してくださいということです。ですから、これらが委員の方が出てきた言葉でではなくて、4つの視点で中身を考えて下さいという形になります。

井口委員：「提示していきます」とか、「統合したいと考えます」とか、「海南小学校の位置で統合したいと考えます」のところなどで、「望ましいと考えます」とか、「整備すべきだと考えます」とか、そういう文言の方が答申としてはいいのなと思います。

委員長：ありがとうございます。文言のところで、どうしていきましょうか。強くする方が良いのか、柔らかくするのが良いのか。先ほど井口委員さんに言っていた、学校施設の整備についての「整備していきます」については、「整備して行くのが望ましいです」とか、確実に変更しなければならないと思います。どうでしょうか。

蒸し返すようで、怒られるかも知れませんが、確かに海南小学校の場所で、海部小と海南小が統合したらいいと思うのだけれど、前にも言ったように、できるだけ早く新しいところに作った方がいいのではないかと気がします。せっきゃく統合するのであれば、子どもたちの安心安全を考えるのであれば、また地域の防災等の拠点になるというのであれば、早く探していただいたらどうかと思います。そのような文言をいれられないのだろうかと思いましたが、委員の皆さんどうですか？これは私の個人の考えです。海部小学校も避難場所も近いですし、高さ50mぐらいまで避難することができます。ですから、外へさえ逃げれば、避難することができますが、残念ながら海部小学校と海南小学校の人数を考えたら、海部小学校は少し規模が小さいです。海南小学校の場所に行くのは適切だと思うのですが、早めにもっと安心安全な場所に、新しい校舎を整備していくようにしたらどうかというような文言を入れてもいいかなというのが、私の個人の意見です。皆さんのご意見を聞きたいと思うのですが、どうでしょうか？

井口委員：今であれば、海南小学校、海部小学校の統合ということで、土地とかも含めてまとまると思いますが、宍喰小学校を含めて1校となったときのことを思えば、宍喰の意見を含めて、そういう文言を残す形で書くのは、今後の在り方という意味でもいいと思います。ただ、今の段階でとなるとしんどいと思います。

角田委員：候補地はどこですか。皆さんの頭の中では、どこを描いているのか、お聞きしたいと思います。

辻委員：ここが一番安全でいい。今、幼稚園、保育所があるから、あの近くのところで山を削って、どこかで文化施設を一つのまとめた方がいいかなと思います。

委員長：鉄道等の線路があることによって一つの防波堤ができるので、鉄道等の線路より西側とか。

岸委員：町長の持論として、小学校、中学校、高校で分けるという話を時折しています。高校が海南にあるので、海部に小学校、宍喰に中学校とか。海部の方に新しい小学校ができれば、中学校は宍喰に造るとかすれば、保護者や地域の理解も得られるのではない

かという話です。

委員長：再編統合した場合新しい学校を、新しい場所でとか、そういうことに話がいっているのですが、本当にありがたいのですが、1校1校にする時に新しい位置にしようという文言を入れてくれてあるので、ここであえて入れる必要もないのかなとか思いながら、ですがやはり早めに町当局、委員会も含めて考えていただきたいということは、ここで意志をはっきりと示しておかなければならないのではないかなと私は思うのです。そのような気持ちで答申をしていくということで、よろしいでしょうか？

文章表現とか、そういうのでも結構ですので、細かい部分も大事なところなので、ここはこういう文言に変えたほうがいいのかというのを気付いたらお知らせ願えたらありがたいと思います。昨日、教育長さんとお話をさせていただく中で、まず1ページ目の文末の文章表現なのですが、ここだけ常体です。あとは全て「ですます」とか、そうになっているので、統一したらどうでしょうかという意見を出させていただきました。1ページ目だけ「何何である」とか「減少している」とか、次のページでは「重要です」とか「いきます」とかという文末表現になっているので、統一したらどうでしょうかという意見を出させていただきました。委員の皆さん、どうでしょうか。はい。それでは、また事務局に面倒をかけて申し訳ないのですが、お願いしたいと思います。

辻委員：学級数のところでは、学校は「栄喰中」とか「海陽中」になっているのですが、中学校の部活のところでは「栄喰中学校」になっており、「中」でいいのか、「中学校」と綺麗に書いたほうがいいのか、二種類あります。

事務局：はい、「中」とかになっているものはすべて「中学校」に統一します。

井口委員：「再編」だけだったり、「再編統合」があったりします。どちらかでもいいと思います。

事務局：再編統合で統一していきます。

岸委員：児童生徒について、「児童」だけのところがあります。

委員長：「児童生徒」のところ、「児童・生徒」と点を入れているところと入れてないところが何箇所もあります。もう点を取ってはどうかと思います。安心安全のところでも、「児童・生徒・教職員等」となって「児童生徒」としても何の問題もないかなと思います。複式学級の状況のところ、海部小学校では、「一学年当たりの児童生徒数」となっており、「児童数」だけでもいいのかと思います。

また、「答申にあたって」のところ、句点はいらないと。教職員の働き方改革のところ、目がいき届いた指導となっていますが、他にいい言葉はないかなと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。今、福田委員さんが「きめ細やかな」とかいうようなご意見

をいただいたのですが、それでよろしいでしょうか。ありがとうございます。後、質問等はございませんか。

私たちが8回の検討委員会で、方針として宍喰地域と、海南と海部地域、小中学校1校ずつの、小学校2校、中学校2校体制とする。これはよろしいでしょうか。これで海南小と海部小を再編統合していきましようというので進めていきます。これで答申をするということで、その後、中学校の部活のあり方や複式学級の解消が見込まれない場合に、小学校1校、中学校1校体制に速やかに移行して行きましようということを答申していくということです。その間に、この補足資料のところにも書いてありますが、もしかしたら先に中学校を統合して、1校、2校に移る可能性もあるということを文章で上げています。それでもよろしいでしょうか。その中で、再編の方針として、「学校の規模を維持及び教育内容の充実を図る」ということで、できればクラス替えができる規模にした方がよいのだけれども、出来ない場合は1学級20人程度が望ましいということを出申すということでもよろしいでしょうか。その次に学校の設備についてのところなのですが、非常に町内の学校が古くなってきています。そのことが財政の課題となってきています。自然災害に対する安全性の確保とか、安全に学校生活を送る校舎でなくてはならないということと、ICT教育に向けて、新時代の学校教育に対応するような設備を備えた学校にしていってほしいということで、できたら新築をお願いしていきたいということで、「新築など」ということも入れてあります。それもよろしいでしょうか。

次にいきまして、まずは2校2校体制から移っていくということで、先ほど事務局の方からの説明にありましたように、小学校2校と、中学校2校体制に移っていき、そして海陽中学校区に一つの小学校として、小中のチェーンスクール方式を導入していき、そして小中一貫の教育を推進していく。宍喰中学校区においては、もう今チェーンスクール方式を取り入れています。継続をしていくというようなことで、答申をしていきます。先ほど話があった、海部小学校、海南小学校は統合再編するんですけども、今の海南小の校舎の場所で統合して、できるだけ早く新しいところを探してもらうということ。中学校の再編は、小学校の再編を考慮して、現在の海陽中学校、宍喰中学校の2校体制が望ましいと考えますということを出申す。続いて、1校1校へ移行していくと書いてあります。最後に、しかしながらのところですが、1校2校体制も考えられますよというようなことで、最終的には1校1校にもっていく。その理由としては、やはり、自然災害等に強く、また安全性の配慮等が十分に踏まえた学校の位置を、高いところに新設を考えてくださいということを私たちは答申をしていこうと。そして、最後のところの再編の時期については、令和9年度以降に2校2校体制が望ましいと考えていますと。中学校の方では部活動の在り方や、複式学級の解消が認められない場合は1校1校にしていってどうでしょうかという答申なのですが、その共通理解はよろしいでしょうか。そういうことで、もしも今の議論で足りないとか、それから文章表現がおかしいということがあったら、ご意見を言っていただければいいし、感想でも良いし、言っていただければありがたいなと思いますので、どうぞご意見をお願いします。

福田委員：学校施設の整備についての文言で、「新時代の学校教育」というものですが、よくあの使われるが、次世代。Z世代とかという世代。そちらの方がこの新時代という言葉よりもどうかと、私自身が思うのですがいかがでしょうか。次の世代の子どもたちを育てていくための学校なので、そのために多分この「新時代」という言葉を入れているのだと思うのですが、個人的に少し引っかかるのです。例えば、時代を「継ぐ」という漢字に直すとか。時間があるので、ちょっと提案させてもらいました。

「次代を担う」方が合っているかもしれません。

委員長：ありがとうございます。福田委員さんの方から新時代ではなくて、他の言葉でということなので、次代を担うというような言葉をアドバイスしていただいたのですが、どうでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。何かございませんか。

議事2 その他

委員長：意見がないようなので、最後の議題「その他」なのですが、その他どうでしょうか。何か感想とかでもいいですし、何でも結構ですので、お願いします。

福田委員：前回、少し言わせてもらったのですが、今回チェーンスクールの形で進められているのですが、パッケージデザインというのは、やはり財政の関係上、無理なのでしょうか。なぜかという、高台移転した場合に、詰まると思います。保育園があるけれど、山を開いての大きな作業になります。パッケージデザインを考えたときに、トータルで財政を考えていけないといけないと思うのですが、ラッキーなことに穴喰中学校のところは防災公園ができています。山を切っているというようなところがあります。ですから、中学校の今建っている状況は、ある程度高いところにあります。そういうようなところをうまく利用しながら、穴喰、海部、これから海南の位置状況を見ながら、イエローゾーンとかレッドゾーンとか、急傾斜のところをみないといけないのだけれど、それらを見ながら、パッケージデザインをうまく考えることは不可能なのかなと思います。

委員長：ありがとうございます。我々は今、チェーンスクールの方向で答申を出そうとしているのですが、1校1校になった時とか、そのときに新しい校舎を建てようとした時に、中学校と小学校を一緒な場所にして、パッケージとしてどうだろうかというご意見なのですが、そこはどうでしょうか？

元木委員：1校1校になるのであれば、そのパッケージスクールの形がいいような気がします。小中学校の児童生徒たち自身も、色々な面で連携したり、話し合ったりというのが、日常の中でできるような形なのかなと思います。急な変更にしても、協力体制にしても、2つよりも1つでいる方が、目が届くのかなと思います。

委員長：ありがとうございます。最後に1校1校になる時に、パッケージにしたらど

うだろうかというご意見ですが、どうでしょうか？

角田委員：牟岐がそうではないですか。親からすれば、例えば参観日とか、小学校とか中学校で、時間割を一緒にできないですか。分けてしまうのですか。

教育長：牟岐のパッケージは、小学校、中学校で別々なので、もちろん合同行事もありますが、行事を合わせていません。ただ、共有の教室を使っています。小学校には特別教室がないので、中学の特別教室を小学生が使ったりとか、先生も兼務があったりして、中学校の先生に小学校に行ってもらったりとか、そういうのはあります。行事関係は、特に問題なく行っているそうです。一緒に行くものもあるみたいです。

岸委員：パッケージはすごくいいことだと思うのですが、先ほど委員長さんが言われたように、新しいところを決めて、できる限り迅速に動いていくということを考えるならば、最初に作ってしまったところに吸収合併されるのではないかという思いが強くなってくると思います。新設したら、もうそこに吸収されていくのだということになってきたら、また合併問題とかで、先に勝手に建てているじゃないかという話になる恐れもあるので、もっと話し合いの場を違うところに持っていくために、書かない方が良くないかと思っています。

委員長：ありがとうございます。他はどうでしょうか。もうほぼこれでいこうということなのですから。

皆津委員：私もやはり、この段階だと少し「ほんわか」するようなのが良いと思います。前にも言いましたが、個人的にやはり、一つの学校校舎の中で、小学生と、中学生が一緒になって学ぶのが良いと個人的にはいつもと思っています。

委員長：ありがとうございます。広く捉えていただけるような表現ということでしょうか。先ほどの「校」校体制のあたりまでは出しても良いですよ。このパッケージにするのかとか、そういうあたりは、意見として頂いたのですけれども、そこに具体的に載せていくかどうかというのは、やっぱりちょっと疑問に思われる方もいらっしゃるというようなことでしょうか。

岸委員：うちが海部東、海部西の統合から、海部中学校、海南中学の統合から二回、子どもが関わって、話し合いに出ているのですが、もめます。やはり、なるべく、保護者の話し合いができるような準備段階を置いておいた方がいいのではないかと思います。パッケージは賛成ですが、もめ事が大変だと思います。

委員長：ありがとうございます。どうしても吸収されるということに本当に抵抗があるみたいです。どのようにしましょうか。答申の案なのですからけれども、これでいかせても

らいでしょうか。折角、色々な意見を言っていたいただけたけれど、具体的にはほとんど載ってないです。2校2校は具体的に海部小学校と海南小学校と一緒にやりましょうという事は載っています。そして海南小学校の位置でどうでしょうか。海部小ではそれだけの規模の教室とかも足りないの、海南小学校でどうでしょうかとなっています。これはもう具体的なのですが、あと具体的といえば、令和9年度以降というようなところで、ある程度具体的に出ているぐらいです。先ほど皆津委員さんから言われた「ほんわか」したような答申なのですが、これで進めさせてもうらうのかどうか。

岸委員：意見が挙げられたので、小中一貫校を建てるということではなくて、パッケージデザインを考えていくのが望ましいぐらいであれば、別にいいというところで終わっているのではないかと思います。パッケージデザインを考えていくのが望ましいぐらいにしといたら、別に小中一貫校を建てるということを含めるということ、それであれば柔らかい感じになります。少し遠いところで行うのもデザインです。どのような感じにも受け取れます。

委員長：1校1校になった時にも、パッケージデザインでやっていくのが望ましいと。委員の皆さん、どうでしょうか。

辻委員：パッケージの文言を柔らかく言われたけど、入れるとしたらどこでしょうか。

委員長：入れるのであれば、1校1校体制のところに入れるのがいいのではないのでしょうか。小中のパッケージに考慮しても良いのではないかとはいえ、今までの話し合いの辻褄が合うように思うのですが。学校の位置を高台に新設する等の検討を行い、パッケージデザインをしっかりと考えることが望ましいと考えますと、入れるとすればここです。委員の皆さんどうでしょうか。「望ましい」というのでどうでしょうか。決めることは、教育委員会や町当局が決めてくれることなので、私たちとしては、これでどうでしょうかというよう意見を出させていただくということで、どうでしょうか。では入れるということで、もし1校1校体制の方法を考えていく場合には、出来れば小中で一緒に生活できる場所を作っていく、安心安全な所へ校舎を建てていただいて、次の世代を担うようなICTの教育環境の素晴らしい学校をぜひお願いしたいということで、答申とするということでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

時間が近づいてまいりました。ご意見、ご感想はございませんか。それでは事務局の方で、今後について説明していただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

事務局：次回開催も含めてということで、答申については、一旦教育委員会の方に答申をいただき、その後町長部局にということで、調整をさせていただきます。令和5年度については、基本計画の策定ということで、委員の皆様には参加して頂いているのですが、教育委員会として、また引き続きご協力いただけたらというふうに考えています。

その計画の進捗の状況によりまして、また各地域への説明を進めてまいりたいと考えています。

委員長：最後になりましたけれども、皆様に委員長として一言お礼を申したいと思えます。この一年と数ヶ月、8回におよぶ検討委員会にご協力いただきまして、ありがとうございました。委員長として、充分皆様のご意見を出して頂いたり、まとめたりすることができなかつたこと、反省しています。委員長という大役を引き受けた事を未だに後悔しております。私自身体調が十分でない中、皆さんが協力して下さったことを本当にありがたいなと思っています。なんとか答申に持っていくことができたように思います。改めてお礼を申し上げたいと思えます。結びになりましたけれども、海陽町の子どもたちが、すくすく成長して元気でいてくれること、それから海陽町の学校がますます活気あふれることを、それから委員の皆様、それから事務局の皆様の健康、ご多幸を願ひまして、私のお礼の挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

事務局：では、委員長さんの方から出来上がったものを、教育長にお渡しするということをさせていただきます。

委員長：皆さん、後の文章については、まかせていただいてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では答申をお渡します。どうぞよろしく願いいたします。